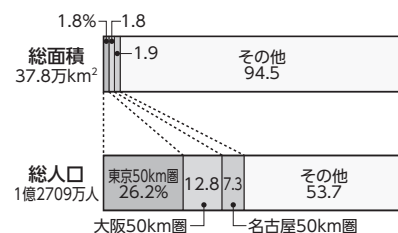


1. 大都市に集中する人口

- (1) 資料Ⅰと資料Ⅱから、日本の人口分布の特色を説明してみよう。

(例) 日本の人口は、面積が国土の5.5%ほどの三大都市圏に46%以上も集中しているほか、札幌や仙台、広島、福岡などの地方の大都市に集中している。

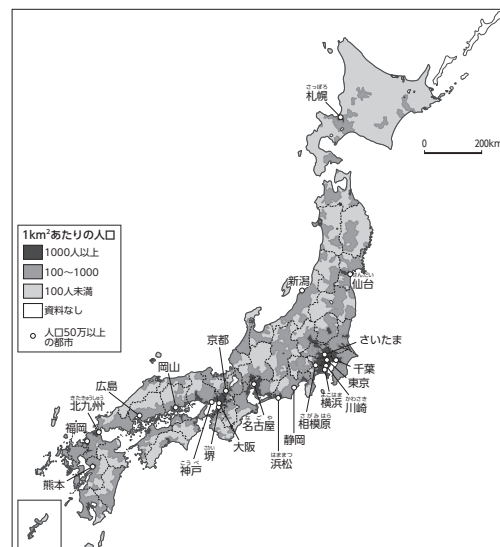
資料Ⅰ 三大都市圏の面積と人口が全国に占める割合



- (2) 地図帳の統計資料を見て、人口が100万以上の都市を三大都市圏とその他の地域に分けてみよう。

東京 大都市圏	京阪神 大都市圏	名古屋 大都市圏	その他 の地域
東京、横浜、 川崎、 さいたま	大阪、京都、 神戸	名古屋	札幌、仙台、 広島、福岡

資料Ⅱ 日本の人口分布



- (3) 人口が集中する地域と人口が少ない地域の課題をそれぞれ挙げてみよう。

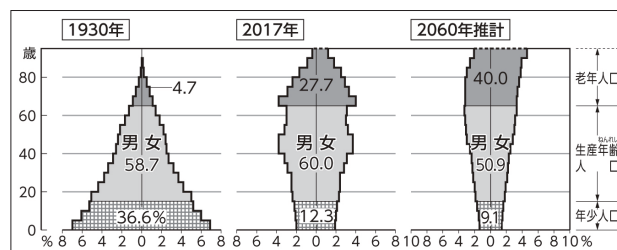
人口が集中する地域	(例) 住宅の不足、通勤・通学時の混雑、交通渋滞、ごみの処理問題 など
人口が少ない地域	(例) 医療機関の不足、学校や商店の減少、地域防災の人手不足 など

2. 急速に進む少子高齢化

- (1) 1930年と2017年を比較し、人口構成の変化についてまとめてみよう。

(例) 1930年は富士山型であったが、少子高齢化が進み、2017年にはつば型に変化してきた。

資料Ⅲ 日本の人口ピラミッドの変化



- (2) 2060年推計の人口構成で予想される課題を挙げてみよう。

(例) 急速に高齢者の割合が増加し、労働力の不足や年金や医療などの社会保障のしくみが維持できなくなることが心配されている。

本時のまとめ

- ◆ 老年人口の割合が高く、高齢化が進んでいるのはどのような地域なのか、図2と3を比較しながら説明しよう。

(例) 東北地方や中国・四国地方のほか、北海道や九州南部など、三大都市圏からの距離が離れている地域。